

市の将来都市像  
多摩丘陵にはばたく  
市民文化都市

第1302号

## 文学館構想に関する提言委員会 「町田市における文学館のあり方」を答申

遠藤周作氏や八木義徳氏など、町田にゆかりの文学者の資料を収蔵する市の文学館構想について、昨年7月から検討を重ねてきた「町田市文学館構想に関する提言委員会(水沢周委員長)が8月7日、町田市における文学館のありかたを山田教育長に答申しました。答申の概要は次の通りです。

**基本理念**  
町田市民の文学的関心を呼び、文学的感動を深め、文学的理解を高め、文学的活動を活かす、それによって町田市民の心がいきいきと豊かになり、個性の発現ができる文学館を目指します。  
**必要性**  
活字離れ、文字文化離れが進み、ものごとを深く認識し判断



答申書を手渡す水沢周委員長

する能力、人間らしく行動するための感性が求められていきます。それが文化の必要性を認識し、文化を支え、文化を創り出す力、いわば市民の「文化力」を生み出すこととなります。文学館は、こうした「文化力」を培い、育む施設です。  
**あり方**  
文学館の基本的な性格や機能

踏まえながら、地域の独自性を強調した個性的な文学館であるべきです。「町田らしさ」を表現する方法として、特定作家の資料のデータベース化、町田市を特徴付ける文学者の創設、若い世代が文学への関心を高める活動、国際版画美術館や自由民権資料館など市内の文化施設との連携などが考えられますが、今後さまざまな検討段階で、広く市民の意見を汲み上げるのが大切です。  
**収集対象資料**  
近代以降の町田ゆかりの文学者を対象とし、原稿や書簡、初版刊本、関係出版物、遺品等を収集対象とします。また、小山田与清や



八木義徳氏の旧蔵資料の中から見つかった日記

五十嵐梅夫、浜澤など近世後期の地元の人に関する資料、絵本や児童文学の分野についても、関連のあるものは対象とします。  
**具体的な活動**  
① 町田ゆかりの作家を広く紹介  
② 町田ゆかりの作家を広く紹介  
③ 町田ゆかりの作家を広く紹介

する常設展示②幅広く、ダイナミックなテーマ設定による企画展示③文学への関心を高め、アプローチの幅を広げる各種の催し④市民の文学活動のサポート⑤インターネット等による資料情報の発信⑥市内の大学等との連携などが考えられます。



遠藤周作氏が町田を描いた小説「土埃」の草稿と初出誌

## 9月議会が開会

### 補正予算案など17議案を提案

会期は21日まで

平成13年第3回市議会定例会(9月議会)が9月3日に開会されました。本議会には、平成13年度一般会計補正予算案など17議案が提案されました。議案の内訳は、補正予算7件、条例4件、財産の取得1件、協定1件などとなっています。また決算認定が1件提案されました。会期は21日までです。

### 補正予算案

今回の補正額は、一般会計が33億7106万4千円、特別会計が24億9195万円で、補正後の額は、一般会計が115億1億6496万円、特別会計が98億8367万2千3百円で、一般会計と特別会計の合計で、214億0168万3千円となります。  
一般会計補正予算の歳入の主なものは、繰越金21億7748万4千円、繰入金6億1633万9千円、国庫支出金2億8701万円の順で、歳入の主なものは、総務費20億9704万3千円、教育費8億5980万1千円、民生費4億2263万0千5千円の順となっています。  
補正後の内訳は、歳入では、市税643億8300万円(構成比55.9%)、国庫支出金99億8991万1千円(同8.7%)、都支出金98億1090万5千円(同8.5%)、繰入金66億696万6千円(同5.8%)、市債49億5440万1千円(同4.3%)の順

歳出では、民生費31億706万1千円(同27.1%)、教育費219億1550万2千円(同19.0%)、土木費179億9593万9千円(同15.6%)、総務費171億4083万3千円(同14.9%)、衛生費125億8420万6千円(同10.9%)の順となっています。  
今回の補正予算に計上されている科目別の主な事業は次のとおりです(1万円未満は切り捨て)。  
**【議会費】**  
議会ホムページ運営委託料の議会活動費(115万円)  
**【総務費】**  
財政調整基金積立金の財政事務費(1億3874万円)、原町田四丁目自転車駐車場建設工事などの自転車対策費(1億9950

万円)、(仮称)馬場中規模集会所施設用地購入費などの中規模地域会館費(7249万円)  
**【民生費】**  
(仮称)デイサービス楼名坂及び(仮称)デイサービス高ヶ坂整備工事費などの高齢者福祉施設整備事業費1億5269万円、乳幼児医療助成費(都制度)などの乳幼児医療費助成費8449万円、児童手当(国制度)の所得制限を緩和する児童手当費(1億8084万円)、子ども家庭在宅サービス施設整備事業費2244万円)  
**【土木費】**  
南13号線(金森)外の道路改良工事費及び南55号線(金森)外の道路用地購入費などの道路新設改良費(4832万円)  
**【教育費】**  
緊急通報装置設置工事費の小学校学校施設整備費(1354万円)、中学校学校施設整備費(630万円)、成人式事業委託料などの社会教育総務費(800万円)、室内プール熱源導入配管改

## 条例案

地方税法の一部を改正する法律(平成13年6月27日法律第68号)による、長期所有相場株式に係る少額譲渡益非課税制度の創設に伴い、市税条例の一部を改正する条例、今年10月から介護保険料が本来額となりますが、特別な事情により介護保険料の支払いが困難な高齢者に対応するため、保険料減免事項を改正する町田市介護保険条例の一部を改正する条例、本町田西小学校、緑ヶ丘小学校及び原小学校の3校を廃止して新たに本町田小学校を設置することや、木曾境川小学校及び鶴川中学校の位置を変更することを内容とする町田市立学校設置条例の一部を改正する条例、などです。

### 文学館の基本理念

- 町田市民の文学的関心を呼び
- 町田市民の文学的感動を深め
- 町田市民の文学的理解を高め
- 町田市民の文学的活動を活かす
- それによって
- 町田市民の心が
- いきいきと豊かになり
- 個性の発現ができる文学館

**施設・設備**  
独立の施設とし、資料の保存環境に優れた広い保存スペース、弾力的に使用できる展示スペース、研究・調査・閲覧スペースなどが不可欠です。  
**立地**  
設置場所として、静かな景勝地とするか、できる限り便利な地点とするかは、それぞれに「長一短があります。検討の過程では、街かどギャラリー、中央図書館、

このほか、答申では、「町田市の文学的遺産」として、町田にゆかりの文学者50余名が紹介されています。なお、この答申は市政情報「やまびこ」(中町分庁舎)と市内各図書館で閲覧できます。また、概要は市のホームページでもご覧いただけます。お問い合わせは中央図書館(728・8220)へ。

**運営**  
生涯学習部図書館が所管し、知識と情熱をもつ職員を継続的に配置します。また、専門家を有する運営委員会や資料選定委員会のほか、市民による文学館友の会を組織し、運営・企画への市民参加を図ります。  
**建設に向けて**  
計画を早急に具体化するともに、進捗状況を逐次市民に公表し、広く市民の意見を汲み上げるべきです。